

第1回千葉県総合支援協議会（第五次千葉県障害者計画策定推進本部会）における各委員からの意見・提案

第四次千葉県障害者計画の進捗状況について		
発言者	意見・要望	担当部会等案
池澤委員	進捗状況の評価について、施策の柱がいくつかあり、それぞれに位置づけられた事業の進捗状況について、今報告があったが、その施策の柱における大きな課題認識はどのように考えているのか。今すぐに課題は出せなくても、次回の会議等に、県としての課題認識を教えて欲しい。	本部会 各専門部会
事務局	それぞれの分野の課題については、進捗状況については、説明したとおりAB併せて約7割達成しており数値目標については、概ね達成している。数値目標以外については、それぞれ課題があると思う。ひとつひとつこの場で申し上げるのは難しいところがあるので、今後五次計画の策定において、検討のなかで引続の課題と、新たな課題について検討していきたい。概況をお伝えすると、概ね達成していると考えている。	
池澤委員	今申し上げた意味というのは、委員からもういくつか課題認識を挙げたが、委員側の課題認識と、県側の課題認識をすり合わせたうえで、次期計画においてどういった取組みを重点的に進めていくかということを詰めていく必要があるのではないかと考えている。そのことについて、大枠でよいので、報告いただければと思う。	本部会 各専門部会

第五次千葉県障害者計画策定について

第五次千葉県障害者計画策定について		
発言者	意見・要望	担当部会等案
田上委員	<p>説明の中で、施策の横断的視点を書いてあるが、施策だけではなくいろいろなものを実現するときに、今ここに集まっているのは、福祉関係だけで、それだけで全てがうまくいくとは思えない。県庁全て横断的なもので、それぞれの係りの方も加わっていないと物事実現しないことがいっぱいあるのではないかと気がする。1 例としてグループホームです。国が地域移行とうたっているながら、それぞれのところで、それを邪魔しているような気がしてしまうが、これを実現するために参加させてほしい。県によって、いろいろなもの、制限を緩和してグループホーム等を作り易くするとか手だてをうっている。これはたぶん福祉関係のその他部署だけでは不可能だと思う。今後例えば建築関係とか消防関係とか、そこが邪魔しているようにしか見えない。それぞれの御意見があって、当然命を守るためにそれぞれ作っている制度だと思うが、私たちから見るとこれが、歯がゆくような部分がある。それを今後どのような形で改善していできるのか、それを期待して私はここに参加させてほしい。</p>	<p>入所・ 地域移行 WT</p>
事務局	<p>担当部局なりの立場があるが、策定体制の中には課内にプロジェクトチームを設置し、県庁各課との担当する部局を決めまして調整にあたりたいと考えている。福祉関係だけで確立できる問題もあるが、それ以外の部分、例えば防災の部分とか、充分注意しながら計画策定を進めていきたい。</p>	

発言者	意見・要望	担当部会等案
植野委員	<p>1つ目は、市町村の定義を教えてください。これは、県、市町村、それと政令指定都市、中核都市というものがあがあるが、これが混在していると思う。市町村障害者計画、これは政令指定都市、中核都市を含まないという言い方をしている。あれば、県の方に包括され、との関係でこれはどの様な関係なのか明記されていないので、改めて説明をお願いしたい。また、県、政令指定都市等横断的な話し合いの場を機会を作っていくことを提案したい。</p> <p>2つ目は、ここには書かれていないが、消防の広域化という話が既に出ている。全国中でも消防の通信システム共同支援体制は、千葉が一番先進的に進んでいる地域と言える。モデル的にやっているのかもしれないが、今のところ千葉と松戸市で2局の形で共同支援室になっている。緊急119ですが、こういう中で障害者に係る支援の考え方という議論が、窓口がはつきりしていない。何故かというと千葉市や松戸市を中心とした多くの市が関わっている中で、県のシステムと関係ないというところの位置付けで、市が集まって議論しているので窓口があいまいである。私が交渉する時、非常に困っている。県に聞いても組織が違うと言われる。地域に言ってもどこか分からない、たらいまわしになっている状況が実情ある。しかし今後県レベルでそのような課題になっていると思うので、これも横断的な、先ほど田上委員がおっしゃいましたが、また違った視点での、各市町村、今福祉サービスとの格差が出てきている。総合支援法の中の特に地域生活支援事業、市町村の裁量という部分があり、結果的に格差が生まれている。差異が出てきている。平成25年度3月に厚生労働省から通達があったが、その中で市町村のモデル実施要綱を参考にして差異のないようにして欲しいという通達が出された。それに対して県はどのような形で市町村と一体となった話し合いを、差異をなくすような取組みを行っていくのか。ここは、文脈的にあいまいになっているので、今後の話し合いになると思うが、その辺を含みおき頂いて、改めてコメントいただきたい。</p> <p>3つ目は、スポーツ・文化の点ですが、国レベルでの話を伺いますと、千葉としてどう考えているかとの話を伺いたい。つまり、パラリンピックですが、森田知事が力を入れたいというような、オリンピックを支えたいという話があったが、しかしスポーツに関しては文科省を含めた考え方になっている。今までは厚労省が管轄ですが、障害者スポーツは厚労省。しかし今後は文科省に移管されるということで、かなり横断的な考え方になる。それに対してどう考えているのか、コメントいただきたい。</p> <p>1つ目は大都市特例の話になると思いますが、大都市特例には該当しない。都道府県は都道府県、政令市は政令市、中核市は中核市、それ以外の市は市と法律で規定されている。</p> <p>総合支援法の規定で、県と読むところと、市と読むところ、その間に政令市と中核市があり、位置付けがあいまいであるという話だと思いますが、総合支援法においては、地方自治法施行令で中核市あるいは政令市については、この部分は県の代わりに行うという規定がいくつかありますが、障害福祉計画あるいは障害者計画を定める部分については、読み替えの規定が条文を指しています。つまり、自治法施行令では、ここに書いてある県は県ではない。ここは、中核市とか政令市が県の代わりに行いなさいとの規定の条文の番号から外れている。例えばは障害者計画を県が定める、それに基づいて市町村が定めるこれが条文にある。これは、文字通り、県は県。市町村は市町村と読んでいただいよい。この部分には地方自治法施行令の読み替え規定は当たらない。県が定める障害者計画。あるいは市町村が定める障害者計画。これは明確に区分できる。実際に総合支援法にいくつか読み替え規定がありますが、障害者基本法には、地方自治法施行令に定める読み替え規定はありません。</p> <p>2番目の消防広域化の話は、消防は消防組織法という法律があり、基本的に市町</p>	<p>入所・地域移行 WT</p>
事務局	<p>入所・地域移行 WT</p>	<p>入所・地域移行 WT</p>

<p>村単位ないしは市町村が作る一部事務組合等で運営されているところである。しかし全体を調整するところは県の消防課でございます。県と市町村との直接的な指揮監督権はないわけですが、先ほどの窓口の話ですが、県の消防課、市町村消防の消防長会という会がありますので、そういうものを通じて必要な働きかけができるのではないかと考えている。</p> <p>3つ目はスポーツ・文化の関係ですが、全国障害者スポーツ大会の所管が厚生労働省から文部科学省に今年度から移管したということで、県としても今後障害福祉課と教育庁の体育課といろいろと連携して進めていきたいと考えていますが、2020年のパラリンピックに向けた体制については、今後検討していずれかの段階で説明したい。また、検討段階ということをご理解いただきたい。</p>	
---	--

発言者	意見・要望	担当部会等案
	<p>主要施策が7つ挙げられているが、今後こういった計画を進めていくうえで、反対側にいる方への啓蒙、啓発をどういった形でいいかということをもう少し重要視していないといけないと感じている。障害のある方たちに関わる機会のある方であれば、こういったことに関心があったり、耳にしたことがある。地元を目を向けてみると、例えば私の息子は、今年度から中学生と小学生で学校に通っている。彼らの中には、障害のある方に対しての知識があったり、考え方があるかというところ、やっぱりおそろく教わる機会がなかったり、なんとなく接してはいるが分からなかったり。</p> <p>就労支援の分野で活動していると、この辺を強く感じる。障害のある方への理解がもっともっと促進されないといけない。就労の機会は正直増えているが、これは労働局、厚生労働省の方で法定雇用率をしっかりと守りなさいという動きがかなり活発で、就労の機会は増えている。その中身に関して、やはりこの雇用のあり方でいいのか、こういった就業体系でいいのか、まだまだ障害のある方、あるいはそれを支援している我々と企業の方たちが真つ先に考えるものとは、大きな差異がある。それは、他の分野も含めて、そういうことに対して何か今までやってないような取組みをしないといけないのではないかと印象を持っている。これがこの7つの施策だけでなく、例えば差別禁止法や千葉県づくり条例、こういったものを進めていく中で、知らないだけの方がまだまだ多い。これは、お金のかかることかもしれないが、こういう形が良いかというのには私には今良いアイデアがないが、そういったことも一方で皆さんの知恵を拝借しながら議論していく場が必要なのかなという印象を受けている。感想です。</p>	<p>本部会 各専門部会</p>
高梨委員	<p>障害福祉計画の市町村からのサービス量の積み上げだけだと、実態とかけ離れたものになってしまいがちですが、これは市町村に通知をするときに何か工夫する考えはあるか。</p> <p>基本的にはサービスの支給量というのは、ニーズに基づいたものでないとならないと思うので、よろしく願います。</p>	<p>本部会</p>
事務局	<p>障害福祉計画については、国から指針が出るところで、それをうけて県として各市町村に県としての基本的な考え方を通知する予定です。各市町村におけるサービス提供見込量の考え方について、ある程度統一的なところを検討していきたいと考えている。</p>	
宮代委員	<p>入所・地域移行 WT と既存の精神障害者地域移行推進部会とのすみ分けについてどのように考えているのか伺いたい。</p>	<p>—</p>
事務局	<p>精神障害者の地域移行については、障害福祉計画の中での数値目標として、施設入所者の地域生活への移行に関する数値目標と、入院中の精神障害者の地域生活への移行に関する数値目標があるので、精神障害のある方については、特別に検討する必要があり、これは従来専門部会で検討を行っているものである。それ以外の部分を WT で行うこととなるが、検討する中で各部会の連携も必要なので、検討状況をお互いの部会に反映させる、フートバックしながら密に横の連携を取りながら施策間の調整をしていきたい。</p>	
宮代委員	<p>精神障害者の方々の地域移行については、既存の精神障害者地域移行推進部会を主な議論の場とし、それ以外の方々、テーマについては、新しくできる入所・地域移行 WT で議論するということよろしいか。</p>	<p>—</p>
事務局	<p>そのように行いたい。</p>	

発言者	意見・要望	担当部会等案
倉田委員	<p>確認なのですが、私も課題・提案をあげているが、それを専門部会とか WT に委ねるということだが、自分が提案したものについては、真意を持って提案しているので、専門部会でもんだ時に、真意が違ったということもないとは言えないので、なんでこういう提案をしたのかということをも本人に確認するというようなことをやらないと、じゃあ今回とりきげで、今回検討でということになりかねないので、どの様に考えているのか。</p> <p>基本的に、いただいたご意見等については、事務局で特に本部会の皆様からいただいたものについては、いただいたまま資料として出させていたたい</p> <p>各専門部会で検討する場合は、事前にいただいた意見の委員にその趣旨について確認して、その意見が伝わるようにしたい。また、部会長の判断で部会においてオフザバーとして意見陳述もできる。</p>	各専門部会
事務局		
植野委員	<p>先ほどの話と繰り返しになるかも知れませんが、改めて説明していただきたい。市町村の会議について、県と一緒に話し合う場をということを皆様を含めてどの様に話し合うか改めて説明していただきたい。1つは、手話通訳、厚生労働省の通達にあったことも関係しますが、更にもうひとつは、地域活動支援センター、これは市の中にもやらないところもあります。聞こえない人に対して地域活動支援センターというのは、本当に数が少ない。ですから隣の市にあればそこに行きたいというニーズも出てきます。また、その市に地域活動支援センターが無いといった場合、日中一時支援とかの制度を使って対応したいということもある。しかし、監査を受けた時に、日中一時支援を地域活動支援センターと一緒にするのは困るという説明もありました。同じ様な事を他にも言われたのですが、その矛盾、やはり市の考え方がバラバラということからきている。地域バリアをそこで作ってしまう。県としても、こういうことに対して制度上違うということで静観するのではなくて、やはりきちんと話し合う場、地域差異のない解消するための使いやすい制度づくりを考える必要があると思う。はっきりとした形でコメントいただければと思う。</p>	<p>入所・地域移行 WT 相談支援</p>
事務局	<p>障害者計画を策定するという観点から言うと、策定した案について、各市町村に意見照会をしたいと考えている。それ以外の部分については、必要なそれぞれの各部会で検討したのについて、また一般的な諸問題については、市町村会議等を通じて、県として市町村にお願いしている。</p>	
植野委員	<p>これは、今の説明の意味、理念、考え方について、失礼ですが障害者権利条約批准前の考え方ではないかと思っています。今年権利条約の批准をしました。障害者基本法を改正されました。ですから、障害者の立場、あらゆる利用している障害者の立場、方向性も大きく変わっていると思う。それに向けてある制度について、そぐわない部分を改正していくという、考え方をどのように話し合いの場を作るかということをつ示していただきたい。今まで通りという事でなく、批准の考え方にそぐわない部分にもなると思いますので、踏みきった方法を出していただきたい。</p>	<p>入所・地域移行 WT 相談支援</p>